



放火されない街をつくりましょう

全国の火災発生原因の中で最も多いのが「放火および放火の疑い」で、昨年は全体の21.8%を占めています。秋田市でも今年8月末までに発生した64件の火災のうち15件が「放火および放火の疑い」で、その比率は

23.4%と全国平均を上回っています。

日ごろから家庭や地域で防火について関心を持ち、放火されにくい環境作りをすることが重要です。



放火されやすい時間

放火による火災は夜間や深夜に多く発生しています。みなさんが寝ている時間が最も危険な時間です。

放火されやすい場所

下記のような人目につきにくい場所が狙われています。自分の家の周りにもないか、確認しましょう。

- 家の外周部
- ごみ捨て場
- 郵便ポスト(郵便受け)
- 物置や空き家
- 車やバイクのカバー
- 周りから死角になる暗い場所



あなたの放火対策は万全ですか (チェックしてみましょう)

- 家の周りを整理整頓していますか
- ごみは収集日の朝に出していますか
- 物置や車庫にカギをかけていますか
- ポストに郵便物を溜めていませんか



しっかりカギかけ
火災予防!

放火されにくい環境を作るには

- 建物の周りは整理整頓し、燃えやすい物を置かないようにしましょう
- 門灯や街灯をつけて暗がり無くしましょう
- 物置や車庫などは施錠し、他人が侵入できないようにしましょう
- ごみ集積所には、指定された日時以外にごみを出さないようにしましょう
- 防火に関する講演会や防災訓練に参加して、防火意識を高めましょう



共同住宅の共有部分に置いていた紙類に放火された事例▶

問い合わせ 消防本部予防課 ☎(823)4247